

令和7年度 関東学生新人体操競技選手権大会 要項

主催 関東学生体操連盟

主管 関東学生体操連盟
栃木県体操協会(未定)

後援 全日本学生体操連盟
宇都宮市教育委員会(未定)

協賛 (未定)

1. 期間(予定)

令和7年 10月31日(金) 会場セッティング、本会場練習、監督会議
11月 1日(土) 審判会議、競技1日目
2日(日) 競技2日目、会場カッティング

2. 会場(予定)

会 場 日環アリーナ栃木
所在地 〒321-0152
栃木県宇都宮市西川田4丁目1-1
TEL 028-658-5900

3. 参加資格

- (1) (公財)日本体操協会の会員登録システムから、各大学の所在地の都道府県体操協会に令和7年度の「所属団体・選手登録」を済ませ、その後、全日本学生体操連盟に「所属団体・選手加盟(連盟登録)」を済ませた者。
- (2) 全日本学生体操連盟への「選手加盟(連盟登録)」が4回以下の者で、関東学生体操連盟に所属する大学(短期大学、専修学校、高等専門学校を含む)の者。
- (3) 初回加盟者については、全ての者が大会の出場資格を有する。
- (4) 加盟が2回以上の者については、大学時において行われた以下の大会のいずれにも出場していない者に限る。
 - ・関東学生新人体操競技選手権大会
 - ・東日本学生体操競技グループ選手権大会
 - ・東日本学生体操競技選手権大会
 - ・全日本学生体操競技選手権大会

- ・全日本体操個人総合選手権
- ・全日本体操種目別選手権
- ・全日本体操団体選手権
- ・NHK杯

4. チーム編成

- (1) 男子は、チーム編成は1チームとし、4～6名（ベスト4）とする。
女子は、チーム編成は1チームとし、3～6名（ベスト3）とする。
- (2) いかなる場合においても、男子はベスト4、女子はベスト3を組めない時点で個人扱いとする。

5. 個人参加

- (1) チーム参加している大学の個人参加は、男子は2名、女子6名までとする。
- (2) チーム参加していない大学の個人参加は男子3名、女子2名までとする。

6. 補欠について

- (1) 各チームの補欠登録は行わない（6.(2)(3)）。なお、補欠として大会期間中に会場に入場できる者（IDが配布される者）は、各チーム2名までとする。
- (2) 個人参加のみの大学は補欠を認めない。
- (3) 補欠選手の練習は、競技前日の所属チーム「本会場練習」でのみ認める。競技当日の「班別本会場練習」は認めない。

7. 選手変更・棄権について

- (1) 選手変更・棄権の申請は、**監督会議開始30分前**までに所定の用紙（メンバーチェンジ・プログラム訂正用紙）で受付に提出すること。ただし、監督会議後に特別な理由で、大会本部への申請により監督会議終了後も選手変更を認める場合がある。
- (2) チーム出場選手、および、チーム個人選手の変更は、全日本学生体操連盟に加盟した選手であれば認める。
- (3) 競技部報・プログラムに掲載される出場選手は、参加申し込みの際に申請された選手名のみとなる。
- (4) 選手のゼッケンについては、チーム6人分の枠、および、チーム個人選手枠のゼッケン番号とし、変更した選手はその枠に与えられたゼッケン番号をつけるものとする。

8. 競技方法について

- (1) 適用規則
 - ・FIG競技規則に準ずる。
<男子>
 - ・**2025年版採点規則**、及び**体操競技情報最新号**を適用する。

※日本体操協会 HP 掲載「体操競技男子 FIG ニュースレター(NO.1)発行に伴う国内適用について」(2025.8.25)も適用とする。

【体操競技男子 FIG ニュースレター(NO.1)翻訳版ならびに国内適用について】

<https://jpn-gym.jp/wp-content/uploads/2025/08/85dbeb286f8cf328df99e738d137b51a.pdf>

- ・男子種目別選手権に出場する場合、跳馬の跳躍は1本とする。

※ 男子特別ルール・・・補助者2名までは減点なし。(鉄棒)

〈女子〉

- ・2025年版採点規則(変更規則I)、及び体操競技情報最新号を適用する。

(2) 競技直前の練習について

[男子]

- ・平行棒は個人の場合、1人50秒、団体の場合、1チーム5分とする。
- ・その他の種目は1組5分とする。
- ・跳馬は1人2本とする。

[女子]

- ・跳馬は1人2本とする。
- ・段違い平行棒は個人の場合、1人50秒、団体の場合、1チーム5分とする。
- ・平均台は個人の場合、1人30秒、団体の場合、1チーム3分とする。
- ・ゆかは1組3分とする。

(3) 順位の決定

- ①団体選手権・・・各種目のチーム得点(男子ベスト4、女子ベスト3)の合計により決定する。
- ②個人総合選手権・・・男子6種目、女子4種目の合計により決定する。
- ③種目別選手権・・・男女共、各種目の得点により決定する。なお、全種目(男子6種目、女子4種目)出場していない者にも権利を与える。

※ 0点は棄権ではなく、得点として扱う。

※ 新技申請については、監督会議開始30分前までに所定の用紙にて提出すること。ただし、選手変更による新技申請の場合は、監督会議開始までに受付に提出すること。

(4) 班編成

- ・男女共に昨年度の成績を参考に決定する。

(5) 開始種目

- ・大会本部の抽選により決定する。なお個人選手の演技順は繰り上げにする。

(6) 器具について

- ・男女共、(公財)日本体操競技認定器具を使用する(詳細は競技部報に記載する)。

9. 表彰

- (1) 団体選手権の部・・・優勝杯、メダル1位～3位、賞状1位～8位
- (2) 個人総合選手権の部・・・メダル1位～3位、賞状1位～8位
- (3) 種目別選手権の部・・・メダル1位～3位、賞状1位～8位

※ 同順位での表彰は行わず、同点は『同点順位について』を適用する。

10. 帯同審判員派遣について

- (1) 本大会にチーム参加する大学は、男子3名、女子2名の1種もしくは2種審判有資格者の審判員を派遣しなければならない。また、個人出場のみの大学は、3名以上の個人が参加している場合、1名の審判員を派遣しなければならない。尚、その審判に対する費用は全てその大学が負担しなければならない。
- (2) 帯同審判員の1名は学生でもよい。また、男女いずれかがチーム参加する大学に対して、異性の審判員派遣を1名まで認める。
例：男子のみがチームで参加する場合、男子審判員3名の派遣義務が発生する。その場合、男子審判員2名、女子審判員1名の派遣も可とする。
- (3) 審判員を派遣できない大学は、1名につき30,000円をもって大会本部に依頼すること。
- (4) (公財)日本体操協会委員を派遣する大学は、予め本部の承認を得なければならない。
- (5) 各大学指導者（部長、監督、コーチ）を帶同審判員として派遣する場合は、「審判員・指導者兼任願い」を最終（参加申し込み）締め切りまでにメールにて提出しなければならない。審判員となる指導者は、審判会議以降の大会期間中は所属選手の練習を指導することはできない。
- (6) 審判構成は、その全てを大会本部に一任すること。
- (7) 帯同審判員は、令和7年度関東学生新人体操競技選手権大会及び、
令和7年度関東学生体操競技交流大会の両大会の審判を行える者に限る。

11. 補助役員派遣について

- (1) 男女共、本大会にチーム参加する大学は4名の補助役員を派遣しなければならない。尚、その補助役員に対する費用は全てその大学が負担しなければならない。
- (2) 補助役員を派遣できない大学は、1名につき7,000円をもって大会本部に依頼すること。
- (3) 本部への補助役員変更の連絡は、10月24日（金）までとする。ただし、監督会議後に特別な理由で派遣不能となった場合、大会本部への申請により、変更を認められる場合がある。
また、補助役員の変更による公文書の再発行は行わない。

12. その他

- (1) 競技区域に入れる者は全ての競技において、大会役員、審判員、補助役員、選

手、補欠、チームリーダー、コーチ（個人4名以上は2名まで、3名以下は1名）、部長、監督、主務に限る。ただし補欠は監督会議以降、競技区域には入ることは出来ない。また部長、監督、主務は競技中の競技区域（競技部報参照）に入ることは出来ない。尚、音楽係のADカード保持者は音楽席のみで活動出来る。

また、段違い平行棒専用コーチは、個人選手のコーチが1名で、段違い平行棒のロイター板を外す役割を担うコーチに対してのみ使用することが出来る。したがって、チームや個人でコーチが2名の場合は、本IDを申請することが出来ない。

※ADカード保持者であってもみだりに競技区域に立ち入ることを禁止する。

- (2) トレーナーは指定の場所のみで活動すること。

※トレーナーの申請人数は男女とも各1名とする。

- (3) 音楽の再生機器は各大学で準備すること。

- (4) セッティング・カッティングは全員参加とする。セッティングに参加した大学のみ
10月31日の会場練習を出来るものとする。参加できない場合は所定の用紙に理由を書いて提出し、許可を得ること。

- (5) 会場の冷暖房については気温状況に応じて使用する。なお、使用する場合には監督会議で報告し、実費を徴収する。

- (6) 大会中の演技の撮影は、撮影ビブス着用者にのみ許可する。なお、初日受付時、各大学に、選手数（男女各最大8枚）+男女1枚ずつ撮影ビブスの配布を行う。（保護者用を含む）。

13. 参加申し込みについて

- (1) 日本体操協会HPの「JGA-Web」から、イベント申し込み画面にアクセスし、必要事項を入力すること。

※申し込み方法は下記マニュアルを参照のこと。

【JGA-Web 申し込み画面】<https://jga-web.jp/tournament/218/detail>

【関東新人交流マニュアル 2025】<https://kantogakurenn.noor.jp/wp-content/uploads/2025/09/bf35221df35c930b055ee6dbcb5b38da.pdf>

※従来の参加申込書、ID申請書の提出は不要とする。

- (2) 参加費（保険料・救護費を含む）

1チーム 60,000円

※チーム登録選手の個人参加費10,000円に加え、チーム登録選手数に応じた以下の団体出場料を追加で支払う。

6名：追加なし / 5名：10,000円 / 4名：20,000円 / 3名：30,000円

（例：チーム登録選手4名の場合：

個人参加費 10,000円 × 4名 + 団体出場料 20,000円 = 60,000円）

個人（1名につき） 10,000円

帯同審判員依頼費（1名につき） 30,000円

補助役員依頼費（1名につき）

7,000円

※団体出場料、帯同審判員依頼費、補助役員依頼費はオプション料金として支払う。

(3) 締め切り

参加申込み締め切り ······ **9月26日(金) 18時**

(選手・スタッフ・帯同審判員、補助役員登録、及び参加費支払い)

最終締め切り(変更、その他申し込み) ······ **10月 3日(金) 18時**

※選手・スタッフ登録変更の際は、関東学連まで「登録変更願」をメールで提出する。なお、登録選手数、補助役員数、及び帯同審判員の変更は認めない。

H P 競技部報掲載予定日 ······ **10月10日(金)**

(4) 参加費の支払いは、9月26日(金)までにJGA-Webシステムで行う。支払方法はクレジットカード、もしくはコンビニ支払いとする。

※コンビニ支払いの上限額は1回につき30万円となっている。超過する場合は、試合ごとに(新人戦、交流戦)、または男女別に分けて参加申込みを行うこと。

(5) 締め切り期日以降の申し込みは受け付けない。締め切り期日以降の欠場は認めるが、原則として参加費は返金しない。

(6) 領収書はJGA-Webシステム上で発行する。なお、本連盟は営利目的の団体でないため、インボイス制度の適格請求書発行事業者登録を行っていない。

(7) 申し込み・問い合わせ先

〒160-0013

東京都新宿区霞ヶ丘町4-2 8階 (公財)日本体操協会 気付
関東学生体操連盟 令和7年度関東学生新人体操競技選手権大会係

FAX 03-6455-4038

E-mail info@gymgakurenn.noor.jp (問合せ先)

H P <http://kantogakurenn.noor.jp>

担当者 (男子) 飛鳥井 麗王 (女子) 宮崎 葉

【同点順位について】

表彰、通過及び部別昇降に関する順位付けについて

団 体 選 手 権	<ul style="list-style-type: none">チームの総合得点から、最も低い種目得点を除いた合計点数が高い方それでも同点の場合は、男子では以後、下位2種目、下位3種目、下位4種目、女子では下位2種目の得点を除いた合計点数が高い方それでも同点の場合は、最も高い種目得点が高い方それでも同点の場合は、同順位とする
個 人 総 合 選 手 権	<ul style="list-style-type: none">個人総合得点から、最も低い種目得点を除いた合計点数が高い方それでも同点の場合は、男子では以後、下位2種目、下位3種目、下位4種目、女子では下位2種目の得点を除いた合計点数が高い方それでも同点の場合は、最も高い種目得点が高い方それでも同点の場合は、Eスコアの合計が高い方それでも同点の場合は、Dスコアの合計が高い方それでも同点の場合は、同順位とする
種 目 別 選 手 権	<ul style="list-style-type: none">Eスコアが高い方それでも同点の場合は、Dスコアが高い方それでも同点の場合は、同順位とする

※この方法は、学生連盟が主催とする大会のみ適用とする。